

# みんなで変える、みんなが変わる学校評価

## 【教師・生徒・保護者・地域】

札幌市立新川西中学校

## I はじめに

みんなが変わる  
学校評価

## 1 本校における学校評価のねらい

本校における学校評価のねらいは、「生徒と保護者による学校評価を実施し、教職員、生徒、保護者、地域などからの多くの意見を参考にし、新川西中学校の教育活動の活性化と、時代の流れに即した教育改革を推し進めながら、本校の学校目標の達成を図る。」というものであるが、「学校評価により学校が改善される」とは、

- ・教職員は、さまざまな視点からの評価を知ることにより、自己本位ではなく、客観的な姿勢が保たれる。
- ・生徒は、自分にとっての学校を見直しながら、自分自身の反省、改善につなげられる。
- ・保護者は対学校でなく、共に学校をつくり生徒たちを育てていくという意識を持つことができる。
- ・地域と学校がお互いに望むことやできることを確認しあい、双方向の協力体制を築いていける。

など、評価活動を通して学校にかかわる全ての立場の人々が、良い方向に変わっていくことと考えている。

## 2 昨年度の学校評価をもとにした改善点

## (1) 学校評価の充実化

- ①年度当初の学校経営方針（新川西中学校の教育について）を保護者に配付するとともに、ホームページに掲載し、本年度の重点目標を明確に示した。
- ②評価項目について、アンケート質問内容や年度末反省項目との関連や整合性を見直した。
- ③保護者による行事ごとの評価アンケートを実施し、集計結果をすぐ提示し、教職員の行事反省の資料として活用した。
- ④中間自己評価を実施し、その資料として生徒による授業評価アンケートを実施した。
- ⑤学校評価アンケートにおける、保護者記述に関する部分については、全ての意見に対し、学校長から本人へ、手紙による個別の返答を行なった。

## (2) より多くの人が学校に足を運んでもらう工夫

- ①2学期の1・2学年PTAと3学年の進路説明会を別の日に設定した。
- ②授業参観により多くの方が参加できるよう、1日日程の授業公開日を設けた。
- ③保護者が日程を調節できるよう、案内を実施日の2週間以上前に出した。

## II 本校の学校評価システム

### 1 自己評価と評価委員会

平成20年度から、校内学校評価委員会を設置し、教務主任・生徒指導主事が実務を担当し、1年を見通した原案を提示した。提示した内容の検討については、教育課程編成委員会の中で行い、評価活動を進めた。

### 2 学校関係者評価委員会

学校評議員およびPTA会長に学校関係者評価委員会の役割を兼任する形で、自己評価に対する検証・助言をお願いした。

## III 学校評価の年間の流れ

月	自 己 評 価				学校関係者評価
	学校（教職員）	生徒	保護者	地域	学校関係者評価委員会
4	学校経営方針（今年度の重点）決定 →公表（文書・HP） 公開授業 PTA 総会				
5	公開授業 学年 PTA				第1回教育懇談会 （評議員）
6	部活動壮行会		行事アンケート	青少年健全育成 推進会総会 行事アンケート	学校訪問（評議員）
7	校内体育大会 アンケート （中間自己評価）	アンケート （授業評価） 【資料1】	行事アンケート	行事アンケート	
8	アンケート集約				
9	中間自己評価書作成				
10	学校祭 合唱コンクール		行事アンケート	行事アンケート	学校訪問（評議員）
11	学年 PTA	レディネス・ア ンケート			第2回教育懇談会 （評議員）
12	学校公開日 アンケート （自己評価・年度末反省） 【資料3】	アンケート （授業評価・ 学校評価） 【資料4】	アンケート （学校評価） 【資料2】	健全育成推進会 3校合同コンサ ート	
1	アンケート集約				
2	自己評価書作成 年度末反省				第3回教育懇談会 （評議員） 学校関係者評価
3	自己評価書公表 （文書・HP） 次年度の重点の検討				

## IV 学校評価の方法

### みんなで変える 学校評価

#### 1 自己評価

学校評価を進めるためには、「みんなで自分達の学校をよりよい方向に変えていこう」という共通認識に立つことが必要である。それを踏まえ、次のように評価活動を行なう。

##### (1) 自己評価・評価項目

- ①学校評価の項目は、年度当初に出される学校経営方針（新川西中学校の教育について）の11分野・領域を基本としている。
- ②1学期末に中間自己評価アンケートを配付、11分野・領域ごとに総合的な自己評価をし、2学期始めに回収・集計し結果を以後の教育活動の改善に役立てた。
- ③12月に自己評価アンケートを配付し、11分野・領域内の細かい評価29項目について自己評価をし、学年末反省の参考資料にも活用できるよう、2学期中に回収・集計し結果を提示した。

##### (2) 保護者・地域アンケート

- ①行事ごとアンケートでは、生徒の取り組みを評価してもらうとともに、行事の「ねらい」達成度を評価していただくことにより、行事の目的を理解していただくようにした。
- ②12月に学校評価アンケートを配布し、記名方式で評価していただいた。  
記名式とした理由は、「お互いに顔が見える関係を保ちたい」「貴重な意見に対してきめ細かい対応をしていきたい」という考えからである。

##### (3) 生徒アンケート（本人の反省も含む）

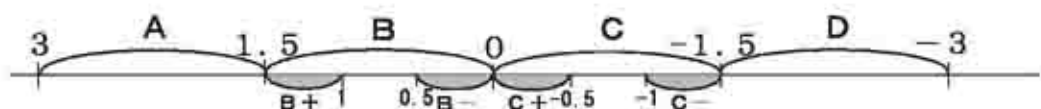
- ①1学期末に、学習反省アンケートを実施。同じ質問を「全体」と「教科別」に回答させ、全体結果のみ係が集計し2学期に提示した。教科別の回答は各教科担任に渡し、各教師が中間自己評価する上での参考資料にした。
- ②12月に学校評価アンケートを実施学活の時間を使い、無記名方式で、本人の反省も含めながら、評価させた。
- ③その他、平成18年度より校内研修の一環としているレディネス・アンケートの結果も、学校評価の参考資料としている。

##### (4) 年度末反省との関連（各アンケート項目の整合）

- ①学校自己評価項目と生徒・保護者アンケート項目の関連性を検討し、関連する項目を一覧表としてまとめた。
- ②学校評価項目と年度末反省項目の整合性を検討し、従来からの学校評価項目を、自己評価29項目ごとにグループ分けしてまとめ、自己評価項目は、グループ内の各項目の総合評価として位置付けた。

##### (5) アンケートの集約方法

- ①中間自己評価、行事ごとアンケート結果の集約は、係が行なった。
- ②12月のアンケート結果の集約については、生徒用は各担任・保護者用は各学年の副担任・職員用は係が担当する形で、全校体制で行なった。これについては、マークシート方式も検討したが、各教師が生徒のデータにじかに触れる方が、より自分たちのものとして実感できると判断したためである。
- ③評価の総合判定については、A=3点、B=1点、C=-1点、D=-3点とし、平均値を求め、下図のように基準を定めた。



適切な検証・助言  
を頂くために

## 2 学校関係者評価

### (1) 学校関係者評価委員の構成と役割

平成20年度の学校関係者評価委員会は5名の学校評議員、PTA会長、学校長、教頭、教務主任・生徒指導部長で構成している。具体的な活動は次の通りである。

#### ①学校評議員による「教育懇談会」を年3回実施。

- 第1回目（5月） ・本年度の学校経営、重点と教育課程、生徒の生活について ・本校に対する意見交換
- 第2回目（11月） ・上半期の学校経営と生徒指導の成果と課題について ・本校に対する意見と評価
- 第3回目（2月） ・一年間の学校経営と生徒指導の成果と課題について ・学校関係者評価のまとめ

#### ②学校評議員による「学校訪問」を実施。

【学校公開】…授業公開（4月21日・5月7日・12月3日）

【行事参観】…学校祭（10月3日）、合唱コンクール（10月31日）

【日常生活の見学】…6月27日（全日・全クラス）

### (2) 学校関係者評価書の作成

第3回教育懇談会の案内時に、学校評価自己評価書を同封し、事前に評価結果の検討をお願いし、当日に話し合いの中で学校関係者評価をしていただいた。

## V 評価結果の公表

活動が見える学校

### 1 公表の方法

学校評価アンケートの集計結果は保護者へプリント配布する。学校評価書は保護者へプリントを配布するとともに、ホームページによる公表を行なう。また、その他のアンケートなどの結果は学校便りを通じて公表する。

### 2 公表の効果

今までは、自分の子どもを通して、もしくは、1家庭の立場として学校を見つめる保護者が多かったが、公表により、学校を多面的に見てもらえるようになった。また、教育活動に対する理解が増し、協力的な意見をいただけるようになった。

評価結果の公表が、「学校が見えない＝不安と批判」から、「学校が見える＝安心と協力」に変わる大きな要因になっている。

## VI 成果と課題

学校に対する評価結果が、本校にとって、教育活動に取り組む上での励みになっている。また、学校評価の目的を共通理解し、評価に対する教職員の意識が高まり、校内行事後に実施される反省アンケートにおいても、今後に向けての建設的な意見がより多く出されるようになった。手間のかかる集計作業についても、意欲的に取り組み、教職員の学校運営にかかわる参画意識の向上につながった。

今後の課題は、改善向上の意識を日々持続させるため、年度途中における各教育活動の反省と、学校評価に関する集約結果を、より有機的かつタイムリーに結びつけていくことである。特に、評価結果を年度末から次年度の重点目標へつなげるまでの手順の能率化が重要である。

### 【参考文献】

・「学校評価ガイドライン〔改訂〕」 文部科学省

・「ガイドライン対応 学校評価マニュアル」

工藤文三／小島宏／寺崎千秋〔編著〕 株式会社ぎょうせい

### 1学期末の学習反省

1学期も今日で終わります。各自1学期の反省や夏休みの計画を立てて、充実した夏休みを過ごそうと考えていることと思います。ここで今一度、1学期の学習について簡単な反省をもらいます。

下の質問について、各教科ごとあてはまると思ふ記号に○印をつけてください。

- A.とてもあてはまる  
B.どちらかといえばあてはまる  
C.どちらかといえばあてはまらない  
D.あてはまらない

総合的に見て

(1) 全教科

	A	B	C	D
1 勉強が好きだ				
2 得意だとと言える教科がある。	A	B	C	D
3 授業に積極的に取り組めた	A	B	C	D
4 先生の説明や注意などをしっかり聞いた	A	B	C	D
5 先生の説明や話しがわかりやすい	A	B	C	D
6 先生は授業中、自分たちのことをよく見てくれる	A	B	C	D
7 先生は分からないところなどの質問に丁寧に答えてくれる	A	B	C	D

(2) 国語・社会・数学・理科・英語

1 日常の家庭学習を継続してできた	A	B	C	D
2 テスト勉強を計画的に実行できた	A	B	C	D
3 満足のいく学力が身についた	A	B	C	D

(3) 音楽・美術・技術・家庭・保健体育

1 説明や注意などを正確にメモし、作業や練習の時間を有効に使えた	A	B	C	D
2 無駄話などをせず、作業や練習の時間に集中できた	A	B	C	D
3 これらの教科の技能や知識が身についた	A	B	C	D

国語科について

1 この教科が好きだ	A	B	C	D
2 この教科が得意だ	A	B	C	D
3 授業に積極的に取り組めた	A	B	C	D
4 日常の家庭学習を継続してできた	A	B	C	D
5 先生の説明や注意などをしっかり聞いた	A	B	C	D
6 テスト勉強を計画的に実行できた	A	B	C	D
7 満足のいく学力が身についた	A	B	C	D
8 先生の説明や話しがわかりやすい	A	B	C	D
9 先生は授業中、自分たちのことをよく見てくれる	A	B	C	D
10 先生は分からないところなどの質問に丁寧に答えてくれる	A	B	C	D

音楽科について

1 この教科が好きだ	A	B	C	D
2 この教科が得意だ	A	B	C	D
3 授業に積極的に取り組めた	A	B	C	D
4 先生の説明や注意などをしっかり聞いた	A	B	C	D
5 説明や注意などを正確にメモし、作業や練習の時間を有効に使えた	A	B	C	D
6 無駄話などをせず、作業や練習の時間に集中できた	A	B	C	D
7 この教科の技能や知識が身についた	A	B	C	D
8 先生の説明や話しがわかりやすい	A	B	C	D
9 先生は授業中、自分たちのことをよく見てくれる	A	B	C	D
10 先生は分からないところなどの質問に丁寧に答えてくれる	A	B	C	D

### 授業公開日等について (アンケートのお願い)

ねらい

1日の中でご都合のつく時間に学校に来ていただき、生徒の日常の様子をご覧いただく。

1. 下の項目について当てはまる記号に○印をおつけください。

A=とても良い、B=大体良い、C=少し良くない、D=問題を感じる

1 ねらいについて	A	B	C	D
2 授業の内容	A	B	C	D
3 授業中の生徒の様子	A	B	C	D
4 休み時間など授業以外の生徒の様子	A	B	C	D
5 授業参観と学年・学級PTAを別日曜にしたことについて	A	B	C	D
6 1・2学年のPTAと3学年の進路説明会の日程をずらした点について	A	B	C	D

2. 今回参観された授業の教科をお書き下さい。

- 1 学年、教科 = ( )  
 2 学年、教科 = ( )  
 3 学年、教科 = ( )

3. 学校行事などに対するご意見ご要望などがございましたらお書きください。

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

4. 下の該当する箇所○印をおつけください。

保護者 ( 1年 ・ 2年 ・ 3年 ) 町内会 その他 ( )  
 ※おさしつかえなければ、お名前をお書きください……

ありがとうございます。

お帰りの際に玄関の回収箱の中にお入れください。



平成 20年度 学校自己評価アンケート(部分)

名前

1 本年度の教育目標

確かな学力を土台に、家庭や地域とともに「生きる力」を育て教育の推進

2 本年度の経営方針

- (1) 全ての生徒をかけがえのない人間として尊重し、心と命を育てるための充実した学校生活を根幹とします。
(2) 知識基盤社会に生きるための基礎を身に付けさせます。
(3) 生徒や保護者と教師、さらに地域との信頼関係を深め、更に教育効果を高めるため学校として適切な情報提供と説明責任を果たします。

3 自己評価結果

(A:十分である B:おおむね十分である C:不十分である D:改善を要する)

Table with 4 columns: 分野・領域, 評価項目, 達成状況, 改善方策. Contains evaluation details for various educational areas like curriculum, teacher training, and student activities.

平成20(2008)年度

新川西中学校学校評価アンケート(保護者用)

( )年( )月( )日 保護者名( )

※下記の項目について、A~Dの該当する段階に○をつけてください。

- A→よく当てはまる(よくしている) B→大体当てはまる(大体している)
C→あまり当てはまらない(あまりしていない) D→全く当てはまらない(全くしていない)

1. 皆様から見た新川西中学校はどうか？

Table with 5 columns: 項目, A, B, C, D. Lists 15 evaluation items regarding school atmosphere, teacher quality, and student learning.

2. 皆様から見たお子さんの様子はどうか？

Table with 5 columns: 項目, A, B, C, D. Lists 10 evaluation items regarding student interest, learning attitude, and school participation.

3. 皆様の学校に対する関心の度合いはどうか？

Table with 5 columns: 項目, A, B, C, D. Lists 5 evaluation items regarding PTA participation, school events, and communication.

4. 新川西中学校の教育に関して何かお気付きの点がありましたら、お書き下さい。

Large dashed box for providing additional comments or suggestions regarding the school's education.